

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2024年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年5月22日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年5月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設淡水化装置(RO3-2)の処理水圧カススイッチ計装チューブからの水の連続滴下について】 協力企業作業員がパトロール中に、運転中の既設淡水化装置(RO3-2)の処理水圧カススイッチ計装チューブから水が連続滴下していることを確認。 その後、当該装置を停止し、連続滴下が停止したことを確認。 調査の結果、チューブ同士の接触部より水の漏えいを確認。 当該設備では、チューブ同士の接触による摩耗を考慮して緩衝材を設置していたが、運転の振動により緩衝材はずれ、接触部が摩耗しチューブに孔が開いたものと推定。 当該チューブの交換、及び緩衝材を運転の振動でずれないように設置し、運転によるチューブ接触がないことを確認。 また、淡水化装置の類似箇所を確認し、緩衝材の設置状況に問題がないことを確認。</p>	GⅢ	5月17日